



World Vision

この子を救う。未来を救う。

# Closure report 2024

## 終了報告書

エルサルバドル共和国

ティエラ・ヌエバ地域開発プログラム

SLV-181324 (2005年～2024年)

グアテマラ

ホンジュラス

エルサルバドル

ニカラグア

ティエラ・ヌエバ  
地域開発プログラム

## ありがとうございました

皆さまのご支援により、人々が変わり、地域が変わりました

5歳未満の子どもの  
予防接種率

2010年

2023年



76%

98%

飲料に適した水道水を  
利用できる世帯

2010年

2023年



70%

92.3%

職業訓練を受けた  
若者の数



525人

## Health & Water



### 保健栄養・水衛生

様々な取り組みを通じて、子どもたちの健康状態が改善しています

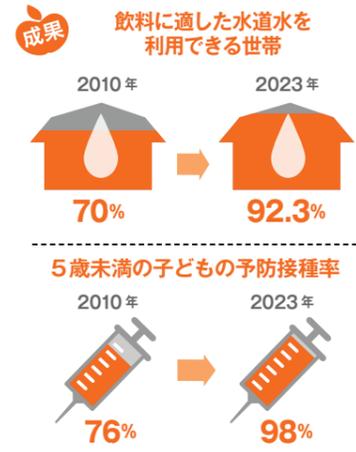
この地域では、子どもの健康管理に関する保護者の知識が低く、栄養不良に陥る子どもが少なくありませんでした。また、近くに水源がなく、遠くの川からくんだ水や雨水といった汚染された水を使用し、多くの子どもが下痢などの症状に苦しんでいました。こうした状況を改善するため、保護者を対象に家庭菜園の促進や栄養価の高い調理法の指導を行ったほか、予防接種や産前検診の重要性についての啓発を行いました。地域や学校に給水施設・トイレ・手洗い場を整備し、さらに地域住民に対して手洗いや屋外排泄根絶のための啓発を行いました。こうした活動が人々の行動変容につながり、健康管理能力が大きく向上しています。



支援前  
以前は雨水をためて生活に利用していました



支援後  
水道が建設され、安全な水を利用できるようになりました



## 現地スタッフよりごあいさつ



ティエラ・ヌエバ地域開発  
プログラム・コーディネーター  
アレクシア・カステイヨ

チャイルド・スポンサーの皆さま、19年もの長きにわたり温かいご支援をいただき、ありがとうございました。支援活動が始まった当時、この地域では栄養不良や貧困など多くの問題を抱えており、さらにギャングによる暴力が地域の発展をより困難にしていました。しかし行政との協働のもと、様々な課題に取り組み続けた結果、今では人々の健康状態は改善し、子どもたちも安心して学校に通うことができています。活動期間中、新型コロナウイルス感染症の流行などの困難に直面することもありましたが、こうして発展の道を進んでこられたのは、地域を支えてくださった皆さまのご支援のおかげです。心から感謝いたします。

## Child Protection



### 子どもの保護

子どもたちが安心して遊び、学べるようになりました

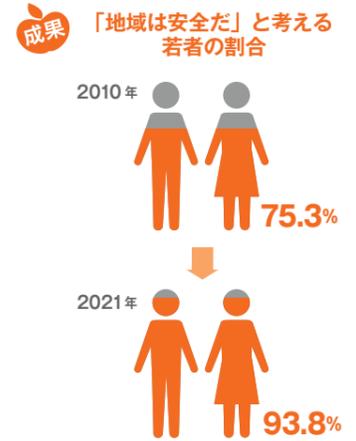
ギャングの台頭によって暴力が横行し、治安が悪化していたことから、子どもたちは外で遊ぶことはもちろん、気軽に外出することさえままならない状況でした。人々には声を上げるすべも改善するための活動機会もなく、子どもが健やかに成長するためのサポート体制もできていませんでした。ワールド・ビジョンは、放課後に安心して遊んだり学習したりできる「子どもクラブ」を開催したほか、子ども自身が自らの権利について学び、発信する機会を提供しました。一方地域住民に対しても、子どもの権利委員会の設置や子どもの保護に関する啓発活動を行うなど、子どもを取り巻く環境の改善に取り組まれました。



支援前  
昼間でも屋外での遊びは危険が伴います



支援後  
安全に整備されたスペースで遊ぶ子どもたち



## Education



### 教育

学習環境が大きく改善されました

地域の治安の悪さから、保護者の多くは子どもを学校に通わせることに消極的でした。また学校側も、子どもたちが安心して通学・学習できるような環境作りができていなかったため、出席率が低い状態でした。そこでワールド・ビジョンは、地方行政と協働し、老朽化が進んでいた学校施設の修繕や新たな教室の建設、トイレや手洗い場の設置を行ったほか、教職員・PTA・地域のボランティアに対して研修を実施し、子どもたちが楽しく読み書きを学ぶための読書キャンプや就学前教育センターを整備しました。さらに、保護者に向けても教育の重要性を訴える啓発を行うなど、様々な取り組みを実施した結果、子どもたちの学習環境が大きく改善されました。



支援前  
教室不足のため、野外で授業を行う様子



支援後  
支援で建設された教室で学ぶ子どもたち



## 地域代表者からのごあいさつ



地域リーダー  
ブランカ・ノエミ・ウマニャ・デ・ピネタ氏

清潔で安全な水を得ることは、この地域の人々にとって切実な願いでした。遠くまで水くみに行かなければならなかったり、不衛生な水によって多くの人が体調を崩したりしていたからです。ですからワールド・ビジョンの支援によって給水設備が建設されたことは、長年の夢がかなったようでした。また、子どもたちも様々な活動を通じて、自分たちの権利や生きる上で大切なことを学びました。みんな以前と比べてより活発で朗らかになり、学校でも一生懸命勉強しています。これから私たちは、チャイルド・スポンサーの皆さまのご支援で実現することができた成果を引き継ぎ、地域の発展のために歩み続けます。これまでの温かいご支援に、心より感謝いたします。

## Livelihood



### 生計向上

自らの力で未来を切り開く若者が増えています

この地域では、治安上の懸念から経済活動が制限され、就業する機会が極めて限られていました。家計を支えるための十分な収入を得られないことから、多くの住民がやむを得ず米国に出稼ぎに行ったり、移住を目指したりするなど、若い世代が将来に希望の持てない状況が続いていました。チャイルド・スポンサーシップを通じて、若者や青年を対象とした多様な職種に渡る職業訓練(パン作り、養鶏、調理、コーヒー販売、装飾品の製作など)を行い、人々は収入を得るための具体的な能力や技術を身に付けました。治安状況の改善もあって、地域経済の活性化が進むなか、地元で職を得て未来を切り開こうとする若者が増加しています。



支援前  
十分に活用されていなかった養鶏のためのスペース



支援後  
養鶏の研修を実施した後の様子



# 皆さまとともに歩んだ19年間の支援と成果

準備期  
2005年度  
▼  
2009年度

- ◎ 支援対象地域での状況やニーズの調査
- ◎ 子どもを対象とした歯科処置、ビタミン剤の配布、虫下しの処置
- ◎ 本・ノートなどの学用品の配布
- ◎ 地域の衛生環境の改善

第1期  
2010年度  
▼  
2016年度

- ◎ 7歳から18歳までの子どもと若者を対象とした、読み書きと数学の学習サポート
- ◎ 7歳から18歳までの子どもと若者を対象とした、ライフ・スキル(※)研修
- ◎ 職業訓練(パン作り、養鶏、調理、コーヒー販売、装飾品の製作など)の実施
- ◎ 子どもクラブやユース・クラブの設置・運営
- ◎ 健康・栄養サークルの設立と、保護者・養育者を対象とした、正しい手洗いや子どもの栄養状態を改善する方法などを学ぶ研修の実施
- ◎ 保護者向けに保健・栄養分野の研修を行う人材の育成

※ライフ・スキル：日常生活で生じるさまざまな問題や要求に対して、建設的かつ効果的に対処するために必要な能力

第2期  
2017年度  
▼  
2021年度

- ◎ 保護者を対象とした、子どもの権利を尊重する育児に関する研修
- ◎ 新型コロナウイルス感染症流行中の心のケア
- ◎ オンラインおよび対面による学習サポート
- ◎ 青少年や若者への積極的な市民活動への参加の呼びかけ
- ◎ 新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少した家庭を対象とした、生計向上研修
- ◎ 新型コロナウイルス感染症流行中の食料支援

第3期  
2022年度  
▼  
2024年度

- ◎ 互いを尊重し、良い家族関係を築くための研修
- ◎ 自然災害が起きた際の対処法や、災害リスクを軽減するための研修
- ◎ 給水施設の建設
- ◎ 水設備を適切に管理・維持する方法を学ぶ研修
- ◎ 養鶏を営む世帯への技術指導および必要な資材の提供
- ◎ 支援終了後の各活動の移行計画について、関係者との話し合い



支援活動の実施計画について話し合う様子



ワールド・ビジョンが実施した子どもの権利デーの様子



良い家族関係を築くための研修の様子



誕生日のイベントに参加した子どもたち

## 支援を受けたチャイルドのストーリー

「地域や人々のために働けることがうれしいです」

ファテリスさん  
(25歳)

「私が住んでいる地域は都市部から遠く離れた田舎で、10代の若者が仕事を得るためにスキルを磨いたり、学んだりする機会がありませんでした」と話すのは、25歳のファテリスさんです。若者の多くは仕事を得ることができず、将来への希望も見いだせずいました。

その後、ワールド・ビジョンの支援が始まったことで、学校や教会といった地域のパートナーが連携し、子どもの居場所作りや若者を対象とした職業訓練など、様々な活動が行われるようになりました。「活動は年齢ごとにグループ分けされていて、小さな子から10代の青年まで、それぞれのニーズや関心に合わせて参加することができます。私はユース・クラブに参加して、自分の感情を周りにうまく伝える練習をしたり、今後の人生設計を立てることを学んだりしました」。ユース・クラブで様々な経験をしたファテリスさんの心に芽生えたのは、次は自分が地域の子どもたちを支える側になりたい、という夢でした。

いま、ファテリスさんはワールド・ビジョンのスタッフとして、地域の子どもたちの成長を見守っています。「地域や人々のために働けることがうれしいです。将来に夢や希望を持つことができたのは、チャイルド・スポンサーの皆さまのおかげです。心から感謝を伝えたいです」

